

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 日本農業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4997 URL https://www.nichino.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 浩幸
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務・法務部長 (氏名) 吉岡 正樹 (TEL) 0570-09-1177
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	63,290	△4.1	2,555	△50.1	1,782	△61.5	1,460	△52.0
2023年3月期第3四半期	66,006	29.9	5,119	76.4	4,626	42.7	3,043	21.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,693百万円(△18.8%) 2023年3月期第3四半期 4,548百万円(71.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	18.61	—
2023年3月期第3四半期	38.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	139,443	75,482	52.5
2023年3月期	136,652	73,125	51.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 73,263百万円 2023年3月期 70,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2024年3月期	—	9.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	1.9	7,100	△18.8	5,900	△24.2	4,000	△10.9	51.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	81,967,082株	2023年3月期	81,967,082株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,503,380株	2023年3月期	3,543,527株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	78,447,249株	2023年3月期3Q	78,423,861株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では高インフレによる金融引き締めの影響から景気は弱含みの状態にありましたが、米国では良好な雇用情勢と賃金上昇により個人消費が堅調に推移しました。一方、わが国では、個人消費や企業の生産活動に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、世界的な金融引き締めや中国経済の持ち直しの動きに足踏みが見られたことなどから、景気は依然として不安定な状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Ensuring Growing Global 2 (EGG 2)」に取り組み、収益性の向上と技術革新・次世代事業の確立および持続的な企業価値の向上を目指しました。

当第3四半期における主な取り組みとしては、2023年10月、チリでの事業活動強化・拡大を目的として同国に現地法人を設立しました。また、同年12月、インドにて水稻用殺虫剤ベンズピリモキサンの新規混合剤であるオーケストラデュエットの販売を開始しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、中核事業である農薬事業が国内、海外ともに天候不順や過年度の流通在庫の影響などから伸び悩み、632億90百万円（前年同期比27億15百万円減、同4.1%減）となりました。利益面では、営業利益は25億55百万円（前年同期比25億63百万円減、同50.1%減）、経常利益は17億82百万円（前年同期比28億43百万円減、同61.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億60百万円（前年同期比15億83百万円減、同52.0%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、ベンズピリモキサン（商品名「オーケストラ」）を始めとする主力自社開発品目の普及拡販に努めました。しかしながら、天候不順による病害虫の少発生や過年度の流通在庫の影響などから販売が伸び悩み、国内販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、インドで雨季到来遅延など天候不順の影響はあったものの園芸用殺虫剤トルフェンピラド、ピリフルキナズンなどの自社開発品目の普及を進める販売戦略が奏功し、Nichino India Pvt. Ltd.の売上高は堅調に推移しました。欧州では殺菌剤フルトラニルの適用拡大などによりNichino Europe Co., Ltd.の売上高が伸長しました。一方、世界最大の農薬市場であるブラジルでは競争激化に伴う一部ジェネリック品目の価格下落の影響などからSipcam Nichino Brasil S.A.の売上高が伸び悩みました。さらに、北米では寒冷な気候が続いた影響に伴う害虫の少発生により殺ダニ剤フェンピロキシメートなどの殺虫剤需要が低迷し、Nichino America Inc.の売上高が伸び悩みました。これらにより為替は円安基調で推移したものの、海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、農薬事業の売上高は592億29百万円（前年同期比25億91百万円減、同4.2%減）、営業利益は22億47百万円（前年同期比24億48百万円減、同52.1%減）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、株式会社アグリマートのシロアリ薬剤分野の販売が好調に推移しました。

医薬品事業では、外用抗真菌剤ルリコナゾールの中国販売終了により売上高が伸び悩みました。

以上の結果、農薬以外の化学品事業の売上高は28億76百万円（前年同期比53百万円減、同1.8%減）、営業利益は7億42百万円（前年同期比74百万円減、同9.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億91百万円増加し、1,394億43百万円となりました。これは、売上債権の減少を上回る棚卸資産並びに投資有価証券の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億33百万円増加し、639億60百万円となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ23億57百万円増加し、754億82百万円となりました。これは、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月9日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,644	10,954
受取手形、売掛金及び契約資産	38,869	29,331
電子記録債権	2,064	1,784
商品及び製品	27,658	35,288
仕掛品	978	1,361
原材料及び貯蔵品	13,236	16,636
その他	4,756	5,825
貸倒引当金	△589	△674
流動資産合計	102,619	100,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,103	4,069
機械装置及び運搬具（純額）	3,629	3,524
土地	5,856	5,909
その他（純額）	1,713	2,126
有形固定資産合計	15,303	15,629
無形固定資産		
のれん	2,594	2,547
その他	1,503	1,780
無形固定資産合計	4,097	4,328
投資その他の資産		
投資有価証券	7,552	11,291
その他	7,085	7,752
貸倒引当金	△6	△67
投資その他の資産合計	14,631	18,976
固定資産合計	34,032	38,933
資産合計	136,652	139,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,519	20,097
電子記録債務	1,010	1,086
短期借入金	10,940	14,300
1年内償還予定の社債	—	1,788
未払法人税等	759	449
賞与引当金	856	473
環境対策引当金	18	—
その他の引当金	51	—
営業外電子記録債務	150	228
その他	10,253	9,087
流動負債合計	44,560	47,511
固定負債		
社債	5,315	4,465
長期借入金	10,167	9,169
退職給付に係る負債	826	923
その他の引当金	186	188
その他	2,470	1,701
固定負債合計	18,966	16,449
負債合計	63,527	63,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,939	14,939
資本剰余金	15,071	15,071
利益剰余金	42,123	42,244
自己株式	△1,907	△1,886
株主資本合計	70,227	70,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	956	1,057
繰延ヘッジ損益	—	21
為替換算調整勘定	△1,985	207
退職給付に係る調整累計額	1,716	1,608
その他の包括利益累計額合計	688	2,895
非支配株主持分	2,209	2,218
純資産合計	73,125	75,482
負債純資産合計	136,652	139,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	66,006	63,290
売上原価	45,666	45,048
売上総利益	20,339	18,241
販売費及び一般管理費	15,220	15,685
営業利益	5,119	2,555
営業外収益		
受取利息	188	1,195
受取配当金	96	184
不動産賃貸料	77	75
為替差益	433	112
持分法による投資利益	615	513
その他	99	78
営業外収益合計	1,511	2,160
営業外費用		
支払利息	586	1,821
デリバティブ評価損	1,303	938
その他	114	174
営業外費用合計	2,004	2,933
経常利益	4,626	1,782
特別利益		
固定資産売却益	29	5
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	29	9
特別損失		
固定資産処分損	11	7
環境対策費	—	15
特別損失合計	11	22
税金等調整前四半期純利益	4,644	1,769
法人税等	1,365	640
四半期純利益	3,278	1,129
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	235	△330
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,043	1,460

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,278	1,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	97
繰延ヘッジ損益	53	42
為替換算調整勘定	829	1,859
退職給付に係る調整額	△38	△107
持分法適用会社に対する持分相当額	328	673
その他の包括利益合計	1,269	2,564
四半期包括利益	4,548	3,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,977	3,667
非支配株主に係る四半期包括利益	570	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

(係争事件の発生)

当社の連結子会社であるSipcam Nichino Brasil S.A. (以下、「SNB」という。)は、以下のとおり2023年10月10日付で損害賠償請求訴訟を提起され、2023年10月20日に訴状の送達を受けました。

1. 訴訟の概要

当社の連結子会社であるSNBにおいて2023年7月26日に重武装による強盗事件が発生し、FMC QUÍMICA DO BRASIL LTDA. (以下、「FMC」という。)から受託し包装作業を行っていた製品が持ち去られました。これに対し、2023年10月10日付でFMCから損害賠償請求訴訟が提起されました。

2. 訴訟を提起した者の概要

(1) 名称：FMC QUÍMICA DO BRASIL LTDA.

(2) 所在地：Avenida Doutor José Bonifácio Coutinho Nogueira, No. 150, Commercial Complexes 103, 105, 107, 108 and 109, Jardim Madalena District, in the municipality of Campinas, State of São Paulo, CEP 13091-611

3. 損害賠償請求金額（遅延損害金を除く）

45百万リアル

4. 今後の見通し

当社グループとしては、当該事案は不可抗力にあたるとの外部法律専門家の見解を得ており、責任範囲の解釈等に著しい見解の相違があるため、訴状の内容を精査のうえ、適切に対処してまいります。当社グループは上記外部法律専門家の見解等を根拠に抗弁してまいります。訴訟の推移によっては、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性を否定できないものの、現時点では賠償の有無及びその際の影響額を合理的に見積もることは困難であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	61,820	2,929	64,750	1,255	66,006	—	66,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	—	16	535	552	△552	—
計	61,837	2,929	64,767	1,791	66,558	△552	66,006
セグメント利益	4,695	817	5,512	264	5,777	△657	5,119

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△657百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△657百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	59,229	2,876	62,105	1,184	63,290	—	63,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	14	571	585	△585	—
計	59,243	2,876	62,119	1,756	63,876	△585	63,290
セグメント利益	2,247	742	2,989	230	3,220	△664	2,555

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△664百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△664百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。